

GREEN RADER

全農長野県本部情報
／グリーンレーダー

2022 VOL.518

07



A-Policy【重点事業方針】

生産販売部 販売流通企画課の取組み 令和4年度 生産販売部 営業課の取組み

A-Reports

- ・「第48回長野県ブラック&ホワイトショウ」開催 03
- ・排水対策講習会を開催 04
- ・「JA農業機械ご成約キャンペーン」実施中 05
- ・選果機も新たにすいかシーズン開始 05
- ・奈良県中央卸売市場45周年感謝祭で長野県産をPR 06
- ・“早×楽×健康”信州野菜の三ツ星レシピを提案 07

A-Board

- ・長野県JA-SS『スマイルサマーキャンペーン』 08
- ・新採用職員紹介 09
- ・JA全農長野の事業現況 10
- ・今月のおすすめレシピ 10
- ・7月のラジオ番組表 10
- ・編集後記 10



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

販売流通
企画課

生産販売部 販売流通企画課の取組み

J A 全農長野生産販売部販売流通企画課は、データの有効活用と業務の効率化を図るため、生産販売事業に関わる業務のシステム化に取り組みます。

輸送問題への対応については、日々の業務を見直すとともに、卸売会社や輸送会社と協力した効率的な輸送への推進に取り組みます。

また、本県農産物の売り場拡大や認知度向上と消費喚起に向けた農産物品目総合宣伝事業に取り組みます。

目標達成に向けた販売流通企画課の重点方針は次のとおりです。

1. 生産販売業務のデジタル戦略化を進めます。

集積したデータを生産販売に活用するシステムの開発を進め、J A との事業連携による本県系統販売力の強化を図ります。また、県本部業務を更に高度化するために、職員の意見を反映した業務システム開発を進めます。

2. 物流改善および集荷所・共選所運用対策に取り組みます

顕著化する「運べないリスク」を回避するため、日常業務の見直しにより効率的な輸送による販売対応を進めます。また、遠隔地輸送のモーダルシフトの継続提案や拠点卸売会社の物流機能を活用し連携を強化するとともに、パレット輸送に備えた体制整備や外装容器の開発に取り組みます。

(下図Ⅱ「成果物の遠隔地輸送対策」参照)

3. 農産物品目総合消費宣伝の効果的な展開

「J A 全農長野」、「三ツ山マーク」、「信州力」の商標を活用し、本県系統組織イメージの高揚と、産地内の系統結集効果を高める事業を展開します。また、系統生産販売事業の持続的発展に向け、食育や花育事業に取り組みます。

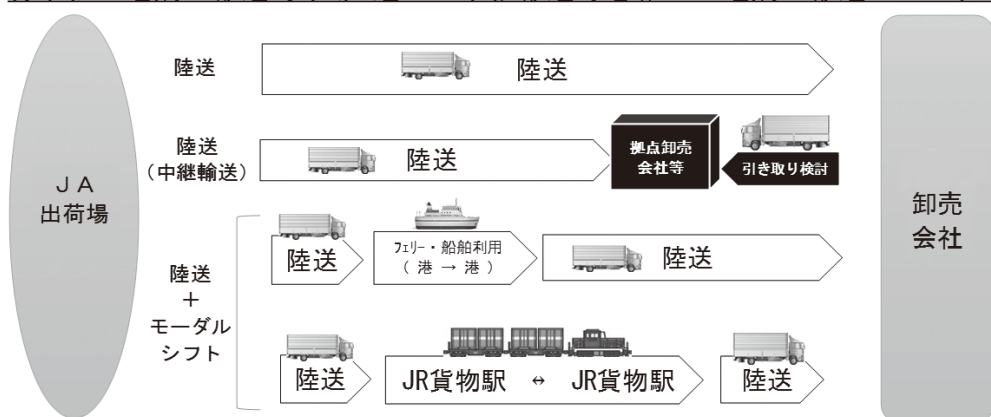
4. 園芸事業にかかる職員研修の開催

本県系統組織設立経過を若手職員に的確に継承し、発展的な事業継続の基礎となる研修会を開催します。また、法令順守、改正法への業務対応など、研修会開催による法対応への公正化を進めます。



JR長野駅ホームに掲出している看板

青果物の遠隔地輸送対策(陸送及び中継輸送等を絡めた遠隔地輸送への取組み)



営業課

令和4年度生産販売部営業課の取組み

■令和3年度品目別販売経過

直販事業は、様々な業態の取引先(量販店、生協、加工・業務用実需者)に対し、J A の協力を得ながら、既存取引品目の維持、拡大とともに新規顧客の開拓を進めました。コロナ禍により対面商談ができず、意思疎通が難しい面がありましたが、電話、webを活用した営業展開を進め、コミュニケーションを深めました。

果実は、生産状況を鑑み、既存企画内容の見直しを進め、取引先への安定納品に努めました。重点実需者に向け提案商品のリニューアルを行い、新規企画を拡大提案しながら本県産果実の訴求力を高めるため取引先との連携をより一層進めました。

野菜は、小売量販に対する産地の生産状況に合わせた機動的な販売企画を提案しました。また、加工・業務用実需者との取引を拡充し、カットサラダ増量企画の継続実施や漬物製造メーカーとの原料契約量を増加するなど、取引の拡充を進めました。新規取引先の開拓も進め、前年を上回る取扱高を

確保しました。

きのこは、特需により伸長した一昨年と比べ家庭内消費も落ち着き、価格安も大きく影響しましたが、小売量販・生協への継続した企画提案と新たな品目を提案し、年間を通じた本県産の売り場確保を進めました。また、業務加工用向けに新規取引を開始し取扱高の確保を進めました。

花きは、昨年に比べブライダル、セレモニー関連の需要が回復基調にありますが、感染の再拡大が懸念されるなかコロナ禍以前の状況には戻っていません。

県内外の小売店への継続した企画提案により前年を上回る取扱高となりました。

以上のような販売の結果、取扱金額は138億円(前年比98%)となりました。

■令和4年度の重点取組み事項

令和4年度は供給高計画を160億円として、次の重点取組み事項を設定し、計画必達を目指します。

1. 生産者手取りの最大化に向けた営業・販売力の強化

(1)積極的営業展開により既存重点顧客および帳合先との関係を強化し、総合品目供給に向けた取引量および取引品目の拡充を図り、事業計画160億円を達成します。

(2)既存の流通ルートに拘らず新規優良顧客の開拓を行い、産地および取引先のメリットを創出します。

(3)実需者への安定供給のため、市場流通も含めた多様な供給ルートを検討します。

(4)コロナ禍による需要変化や多様化する小売形態へ対応するため、実需者要望を的確に把握し、柔軟かつスピーディーな業務推進および販売促進活動を行います。

(5)産地に対する直販流通への理解促進を図り集荷力を強化し、顧客要請に応じられる商品供給力を高めます。

2. 商品開発力・提案力強化による販売拡大

(1)既存委託取引先との連携強化による、産地パッケージ商品を新規創出します。

(2)県産加工製品の開発に伴い、商流・帳合機能を発揮します。

3. マーケティング情報に基づく生産販売提案の取組み強化

(1)営業日報管理システムの活用による県本部内の情報共有(連携)を図り、より円滑な取引の実践と営業推進を行います。

(2)営業活動により得られた情報に基づき、新規品目・新規企画・商品企画の提案と供給ルートを開発します。

(3)生産振興部ならびに関係部署と連携し、需要に応じた品目の生産振興と産地発信による品目提案を進め、産地開発と商品提案力を強化します。

4. 集出荷・輸送・荷降ろしの効率化

(1)直販青果物輸送における課題に対し、取引先への要請を含めた改善対策を検討します。

(2)調整保管・配送機能等を具備する取引先と連携し、輸送効率化を研究します。

(3)コスト抑制に向けたリパック品等のアイテム整理を行います。

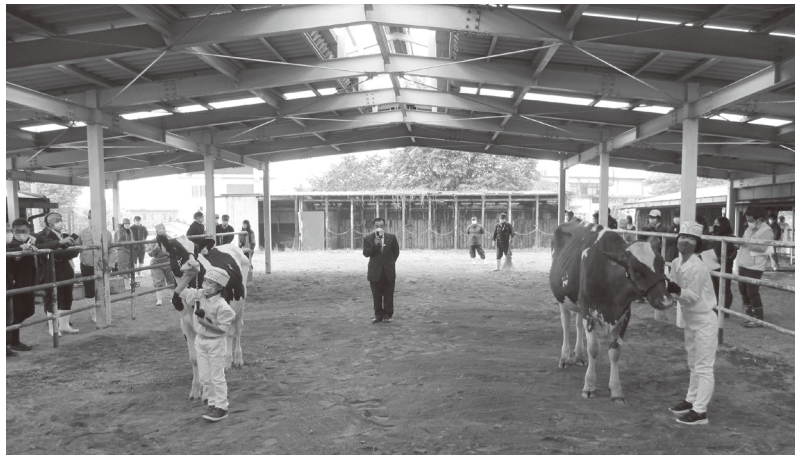
5. 債権管理の徹底

(1)請求・精算、代金回収まで一連の業務を担う課であることの認識を持ち、債権管理を徹底し営業推進を展開します。

「乳牛の改良・県内生産者同士の交流促進・そして酪農の発展のために」

「第48回長野県ブラック&ホワイートショウ」開催

長野県ホルスタイン改良同志会（事務局／畜産酪農部畜産酪農課）は5月21日（土）、第48回長野県ブラック&ホワイートショウを小諸市の小諸家畜市



ジュニアリードマンの審査

場で開催しました。このショウは「乳牛の美人コンテスト」とも呼ばれるもので、長野県内における代表的な乳用牛を展示して、その水準を比較検討し、今後の改良と生産者同士の交流促進、また、酪農の発展に寄与することを目的に開催しています。

2019年3月に開催した「第45回長野県ブラック&ホワイートショウ」を最後に「豚熱」及び「新型コロナウイルス感染症」の予防対策等の一環として第46回〜47回の開催を中止していましたが、今年度は「豚熱」への衛生対策及び「新型コロナウイルス感染症」の予防を徹底することにより、3年振りに開催しました。

審査員に、（一社）日本ホルスタイン登録協会会長でもある長野県上高井郡高山村在住の前田勉氏を迎え、県内生産者が手塩にかけて育てた25頭について体型バランス等を審査しました。審査の結果、未經産牛のグランドチャ

ンピオンには塚田伊佐男氏（所属／浅間ブリーダーズ）のエンデヴァマダムティアーククラツ

シヤブル、経産牛のグランドチャンピオンには新海益二郎氏（所属／野辺山クラブ）のラツキーマーシユジョージシヤロールが選ばれました。

第15部ジュニアリードマンの審査では、新海江美さん（南牧村立南牧南小学校）と中山姫奈さん（富士見町立富士見小学校）が牛を引き、小さい体で自分より大きな牛を引く姿が会場の視線を引きつけていました。

酪農情勢も厳しいなかですが、3年振りの



経産牛のグランドチャンピオン（左の牛）とリザーブチャンピオン（右の牛）の表彰

大会は出品者同士の有意義な情報交換の場となり、県内酪農事業発展に努めることができました。今後、同志会の仲間づくりと乳牛の改良を一層進めて参ります。

表紙上の写真：大会出品者と関係者

排水対策講習会を開催

「カットブレイカー、エンジンオーガー実演」

J A全農長野中信事業所は、昨年夏季に課題となった湿害による野菜の品質劣化対策として、排水対策講習会を開催しています。

対象品目はハクサイ、玉レタス、非結球レタス、セルリー、ネギ、ジューズ用トマト、スイカで、講習会では、排水対策として高い効果が見込まれるカットブレイカーとエンジンオーガーの実演を交えながら、説明をしています。



施工部断面図を用いてカットブレイカーの仕組みと耕盤破碎について説明する生産振興課の上杉審議役（右から4人目）



カットブレイカーの施工により15cm前後の耕盤層が破碎された様子を説明

湿害対策の解決については生産者やJ A職員、行政関係者の関心が高く、中信地区全6 J A11会場で、延べ222名の出席がありました。参加者からは「今回参加できなかった仲間にも参加してもらいたい。次回の開催に期待したい」「ぜひ自分の圃場も施工してみたい」など前向きな感想を多くいただきました。全農長野のカットブレイカーレンタル機による中信管内の施工圃場は5月末現在で約5・5haまで達し、今後の施工予約も続々と入っています。



実際にカットブレイカーがどのように潜行しているのか確認

また、講習会会場としてカットブレイカーの施工を行った圃場は、品目ごとに排水対策モデル圃場として位置づけ、長野県野菜花き試験場や各農業農村支援センターと共に追跡調査を行います。今後の生産振興に活用する予定です。

中信事業所では、今後も生産現場に足を運び、県営農関係機関やJ A長野県営農指導者会議等と協力し、課題解決に向けた活動を展開して参ります。



カットブレイカーの施工体験



エンジンオーガーの実演。農機の扱いに不慣れな方でも施工が容易だと好評



多くの来場者で賑わう会場

開催が自粛されていたが、久しぶりの開催は多くの来客で賑わい、コロナ前を彷彿する活気を感じました。今後は、人が集まっていたイベント



好評だったきのこセット

これまでコロナ禍によりイベント開催が自粛されていたが、久しぶりの開催は多くの来客で賑わい、コロナ前を彷彿する活気を感じました。今後は、人が集まっていたイベント

が増え、長野県農産物のPR・販促イベントをとおして長野県産の認知度・魅力を発信するよう、卸売会社とも連携しながら取り組みを進めて参ります。



長野県産 PR ブース

奈良県中央卸売市場45周年感謝祭で長野県産をPR

JA全農長野大阪販売事務所は5月15日(日)、奈良県中央卸売市場の開場45周年記念事業として大和郡山市筒井町の場内で開催された市場まつりに参加し、長野県産のPRを行いました。

同市場まつりは、「ありがとう45周年感謝祭 新たな市場に向けて」と題し、新型コロナウイルス感染症予防対策のため前半・後半の2部制で開催されました。イベント規制緩和後の開催となり、家族連れなど約

1万人が来場するほど大盛況でした。特設ステージでは、音楽隊の演奏や阿波踊りなどが披露され、出店ブースは各県連JAや市場関係団体等60を超えるブースを数え、マグロの解体ショー、海鮮丼、焼き芋などには長い列ができていました。

当事務所は、きのこセットとリンゴジュースセットを販売。きのこはえのきたけ・ぶなしめじ等6種類とドレッシング小袋・フリーザーバッグ・レシビをセットにして400円で、リンゴジュースは、りんご3兄弟(シナノスイート・シナノゴールド・秋映)の6缶セットを500円で販売。いずれも、昼には完売するほど盛況でした。

これまでコロナ禍によりイベント

開催が自粛されていたが、久しぶりの開催は多くの来客で賑わい、コロナ前を彷彿する活気を感じました。今後は、人が集まっていたイベント

「JA農業機械ご成約キャンペーン」実施中

JA全農長野農業機械課では、6月1日から8月31日までの期間中、農業機械をご成約いただいた農家組合員のみなさまに感謝の気持ちを込めて、抽選で信州の牛肉が当たる「JA農業機械ご成約キャンペーン」を実施しています。

JA農業機械センターで1台あたり100万円以上の農業機械を購入

信州の牛肉 プレゼント!

抽選で100名様に当たる!

応募対象期間 令和4年6月1日(水)～8月31日(水)ご成約分まで
※1台あたり100万円(税込)以上の農業機械ご成約が応募条件です。

信州プレミアム牛肉
①肩ロースすき焼き用1kg分
②ロースステーキ400g
すき焼き用200gセット

信州アルプス牛
①ロースステーキ500g
すき焼き用500gセット

応募要項
応募締切 令和4年9月9日(金)JA受付分まで
応募資格 応募対象期間中に、JA農業機械センターにて1台あたり100万円(税込)以上の農業機械をご成約いただいた方
応募方法 成約JAにてお渡しする「専用応募用紙」にご希望の農産品・必要事項を記入しJA農業機械担当者にお渡しください。
(※対象品1台あたり1口の応募とさせていただきます。)
当選発表 抽選の上、農産品の発送(冷凍便)をもって発表にかえさせていただきます。
抽選に外れた方にも、もれなく粗品を差し上げます。(農産品発送は令和4年12月頃を予定)
お問合せ JA全農長野 生産購買部 農業機械課 Tel:026-236-2237
※当キャンペーン応募に関する個人情報については、抽選および農産品発送にのみ使用します。なお、農産品の発送手配のため長野県協販株式会社へ提供します。

本年7月に長野市エムウェブにて予定しておりました「JA農機&資材フェスタ2022」は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、来場者およびスタッフへの感染予防を配慮し、中止とさせていただきます。

声かけ・点検・整備 農作業安全 ヘルメット・シートベルトで 夏の農作業はこまめに水分補給し休憩を取って 熱中症予防!

JA農業機械センター・JA全農長野

す。さらに抽選に外れた方にも、もれなく粗品を差し上げます。

例年7月に開催している「農機&資材フェスタ」は、新型コロナウイルス感染拡大の収束が見込めず、来場者およびスタッフへの感染防止を最優先するため、JA総意のもと、今年も開催中止といたしました。同フェスタは、農機メーカーの最新機械の展示や最先端のスマート農業技術などを紹介する場として、毎年多くの組合員のみなさまにご来場いただいております。今年度のフェスタは中止となりますが、当キャンペーンと合わせて、農機メーカー各社にて台数限定・特別価格の「目玉機」などを取り揃えておりますので、この機会にぜひ農業機械の購入をご検討ください。

選果機も新たにすいかシーズン開始

今シーズンのすいか出荷を前に、JA松本ハイランドすいか共選所の選果機が更新され、5月30日(月)に竣工式が開催されました。6月13日(月)には新選果機による選果が始まり、ハウスすいか初出荷となりました。

出荷されたすいかは、JA部会検査員の目視検査を経たのち、選果ラインに入ります。新選果機は、これまで以上に精度の高い「糖度・熟度・空洞果」センサーを備えているため消費地に、より良い品質の商品を提供していける産地体制が整いました。

初選果のハウスすいかは、6月14日(火)に(R&C)ながの青果松本支社にてJA松本ハイランドのトップセールスにより初売りとなり、すいかシーズンがスタートしました。露地すいかは、7月4日(月)よりスタートする予定です。

今年度、JA松本ハイランドのすいか共選計画は80万ケース、作付け面積は200ヘクタール、生産戸数200戸、主な品種は祭ばやし777(70%)、祭ばやし11(20%)の計画です。



5月30日の竣工式

■JA松本ハイランドすいか共選所選果機整備工事・建屋改修工事概要

・総事業費	1,205,500,000 円 (補助事業・補助事業対象外工事含む)
・施工管理者	全国農業協同組合連合会長野県本部 施設住宅課
・施工業者	選果機整備工事: シブヤ精機株式会社
	建屋改修工事: 北信土建株式会社



6月14日の初競売



6月13日の初出荷

令和4年度野菜キャンペーン ”早×楽×健康“信州野菜の 三ツ星レシピを提案

今年度、JA全農長野野菜きのこ課の野菜キャンペーンは「早い(時短)」「楽(簡単)」「健康」の3つが叶う「信州野菜を使った素敵なレシピ」を提供し、消費者の「作りやすそう!作ってみたい!」という気持ちに喚起して本県産野菜の購買意欲の促進につなげます。

■オープンキャンペーン

5月から10月末まで、3期に分けてオープンキャンペーンを実施中です。キャンペーン特設サイトには料理研究家でフードコーディネーターの「りな助」こと河瀬璃菜さん考案の本県産野菜を使ったオリジナルレシピを掲載しています。またキャンペーンクイズのWEB応募もこのサイトにて受け付けます。店頭にはキャンペーンを告知するPOPや応募はがきを設置し、新聞・雑誌・電子媒体を活用した告知や情報発信も行います。

■投稿キャンペーン(ベジフォトコンテスト)

本県産野菜を使った料理写真をInstagramに投稿してもらうキャンペーンを行います。グランプリ・準グランプリなどの受賞者にプレゼントを贈ります。

■第2弾「夏野菜出荷キャンペーン」を催中

6月20日から8月21日まで、第2弾「夏野菜出荷キャンペーン」を開催中です。今回は、時

短レシピ”としてグリーンリーフレタスやセルリーを使った「グリーンリーフレタスとサーモンのラップサラダ」、健康レシピ”として「ズッキーニのカルパッチョ」、野菜大量消費レシピ”として「白菜の豚バラチーius焼き」など6種類のレシピを提案しています。レシピは特設サイトや店頭に設置しているキャンペーン応募はがきに掲載し

ています。野菜きのこ課では、このほかに全国紙や雑誌への広告掲載やラジオCM、SNSや電子媒体の活用、調味料メーカーとのタイアップ等によりキャンペーンを周知し、本県産野菜の消費拡大を図ります。

SS協同経営課からのお知らせ 長野県JA-SS 『スマイルサマーキャンペーン』

長野県JA-SSでは、組合員・お客様の日頃のご愛顧に感謝し、スマイルサマーキャンペーンを行います。

期間中、給油または油外商品のお買い上げ1,000円につきスタンプを1個押印し、10個スタンプを集めた方へ、長野県JA-SSオリジナルエコカトラリーセット(箸、スプーン、フォーク)をプレゼントします。詳しくは、店頭スタッフまでお問い合わせください(一部実施していないSSがございます、ご了承ください。)

今回のキャンペーンは、法人様対象外となっております。皆様の自家用車でのご利用を、心よりお待ちしております。

長野県JA-SSでは組合員・お客様に足を運んで頂けるSS作りを展開し、今後も楽しいイベントやキャンペーンを行ってまいります。ぜひ、JA-SSへご来店ください。

- 〈キャンペーン期間〉 2022年7月1日(金)~7月31日(日)
- 〈応募方法〉 ①期間中、給油または油外商品のお買い上げ1,000円につきスタンプを1個押印します。セルフスタンドの場合は、レシートを店頭スタッフにご提示ください。
- ②スタンプを10個集めると、長野県JA-SSオリジナルエコカトラリーセットをプレゼントします。
- ※景品には限りがございます。
- ※7月31日(日)の営業終了時間をもって景品の引き換えも終了となります。

JA全農長野の事業現況▶

令和4年度5月末部門別実績表 (単位: 百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		17	—	—
野菜種苗センター		56	83	83
生産振興部計		73	109	108
米	穀	1,857	89	77
果実花き		913	120	112
野菜きのこ		5,199	90	104
営業		942	89	96
生産販売部計		8,911	92	97
包装資材		766	85	98
生産資材		2,703	114	115
農業機械		1,236	106	86
施設住宅		1,437	108	124
生産購買部計		6,143	107	107
畜産酪農		4,778	101	97
三岳牧場		43	111	114
SPF繁殖センター		52	103	106
ハケ岳牧場		35	85	87
畜産酪農部計		4,908	101	97
燃料・ホームエネルギー		4,268	102	105
S S 協同経営		1,296	109	114
生活		1,531	104	98
生活部計		7,095	103	105
長野県本部計		27,131	100	101

(内部販売高含む)

7月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
7/27(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえびりでい内 「暮らしの応援団」	畜産酪農課

グリーンレーダーの
ツイッターを始めました

JA全農長野
【公式】グリーンレーダー

@ja_greenradar



編集後記

今年の梅雨入りは関東甲信地区で6月6日。前年より8日、平年より1日早い梅雨入りとなりました。今年はずっと早く訪れたような感じがしますが、平年並みという事で驚かされます。そんな事を考えているうちに、いつの間にか梅雨が明け、夏に突入していると思います。きつと今年も間違いなく暑く、厳しい夏になると思いますが、ちよつとした工夫をしながら快適に過ごしていきたいと思っています。

話題は変わりますが、今年は11月にサッカーワールドカップドバイ大会が始まります。強化試合を見ているとランキング世界1位のブラジルと良い試合をしたり、年々日本の実力が上がっているような気がします。大いに活躍を期待しています。

さてサッカーといえば我が「松本山雅」。今年は名波監督のもとチームもまとまり、開幕戦より好調を続けています。力のある若手の台頭が影響し、ベテラン選手への刺激となつていくように感じます。観戦しているお客様がワクワクするようなプレーや試合を期待し、我々もしっかりとチームと選手をサポートしていきたいと思っています。

(一)

今月のおすすめレシピ

平成30年度
牛乳・乳製品利用料理コンクール県大会優良賞・
長野県牛乳普及協会会長 受賞レシピ

栄養満点!サバカレー



- 材料(4人分)
- 【ごはん用】 ・米……………2合(300g)
・ヨーグルト……………100g
- 【カレー用】
- ・人参……………100g
 - ・玉ねぎ……………100g
 - ・大根……………400g
 - ・オリーブオイル……………小さじ2
 - ・生姜(おろし)……………小さじ2
 - ・にんにく(おろし)……………小さじ2
 - ・塩こしょう……………適宜
 - ・イタリアンパセリ……………少々
 - ・サバ水煮缶(汁ごと)……………2缶
 - ・トマト缶……………1缶
 - ・牛乳……………200ml
 - ・水……………200ml
 - ・固形コンソメ……………2個
 - ・ヨーグルト……………200g
 - ・カレー粉……………大さじ3
 - ・バター……………20g
 - ・蜂蜜……………小さじ1

- 作り方
- ①炊飯器に米、水(分量外)を2合の目盛りまで入れ、ヨーグルト100gを加えて炊飯する。
 - ②人参、玉ねぎ、大根の皮を剥き、一口大に切る。オリーブオイルで炒め、生姜、にんにくを入れ再び炒める。
 - ③サバ缶、トマト缶、水、牛乳、固形コンソメ2個を入れて沸騰したら灰汁を取り、蓋をして15分煮込む。
 - ④ヨーグルト200g、カレー粉大さじ3、バター20g、蜂蜜小さじ1、塩こしょう適宜を入れて5分程煮込む。
 - ⑤ご飯の上にイタリアンパセリをちらし、横にカレーを盛りつける。

ワンポイント
アドバイス

骨まで食べられるサバ缶にミルクを加え、カルシウムがたっぷり!ご飯は少し酸味がきいていて、さっぱりとしてカレーに合います。

新採用職員紹介

令和4年度の新採用職員を順次ご紹介します

生産販売部 果実花き課 川上直美



生産現場は
新しい発見と学びの連続です!

はじめまして、生産販売部 果実花き課の川上直美と申します。出身は松本市です。

中学高校と中長距離を走っていたこともあり、体を動かすことが好きで、最近をよく散歩をします。歩くことでしか発見できないような素敵なお店に出会えることもあり、楽しいです。

仕事をする上では感謝の気持ちを忘れず、人との繋がりを大切にしながら、長野県の農業に貢献できるよう尽力して参ります。長野県の農産物をもりもりと食べ、粘り強く頑張ります。よろしくお願いいたします。

生産販売部 野菜きのこ課 岩村美緒



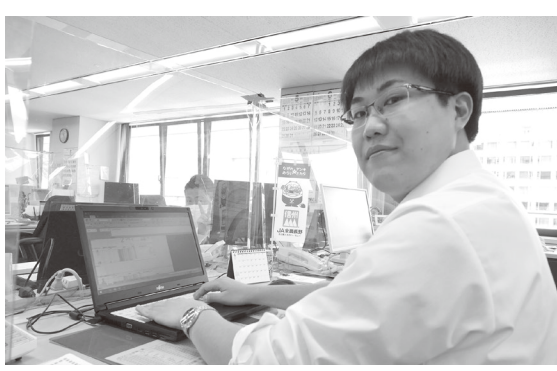
毎日見える山々に癒しをもらってます!

はじめまして、生産販売部 野菜きのこ課の岩村美緒と申します。

親の仕事で国内外への引っ越しが多く、地元といえる場所がありませんでした。これからは長野県の魅力を知り、長野県を地元にしたいです。

一つ一つの仕事を丁寧にすることを心がけ、将来的には長野県産農産物を海外でも広められるよう、海外生活で培った多文化の知識や英語力を活かしていきたいです。

生産購買部 生産資材課 資材店舗グループ 宮坂泰正



皆様に愛される資材店舗作りのために
頑張ります!

はじめまして。生産購買部 生産資材課 資材店舗グループの宮坂泰正です。出身は諏訪市で、幼少期より祖母の畑の手伝いをしていたため農業は自分にとって非常に馴染みの深いものです。

趣味は釣りや多肉植物の栽培です。

店舗のデータ集計や研修会企画等まだまだ慣れないことも多いですが、常に学びの精神を持って精一杯業務に取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

本誌6月号において、記載に誤りがありました。深くお詫び申し上げます。右記のとおり訂正させていただきます。

訂正内容 9ページ3段目 【誤】生産販売部 生産振興課
【正】生産振興部 生産振興課

スマイル サマー キャンペーン SUMMER CAMPAIGN 2022

期間中、スタンプを集めると
オリジナル商品が
もらえる!!

スタンプ
10個で

長野県JA-SS限定!!



エネゴリくん
カトラリーセット
(箸・フォーク・スプーン)

※絵柄は4種よりお選びいただけます。
ただし、数に限りがございますので先着順となります。
※品切れの際はご容赦ください。

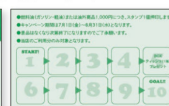
スタンプ
5個で

BOXティッシュ
(1箱)

キャンペーン期間中、給油 または 油外商品 のお買い上げ
1,000円につきスタンプ1個押印いたします。

※本キャンペーンは法人様は対象外とさせていただきます。

▼ スタンプカード ▼



【キャンペーン期間】2022年7月1日(金)～7月31日(日)

※31日(日)の営業終了時間をもって景品の引き換えも終了となります。



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA 全農長野ホームページ..... <https://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JA タウン」..... <https://www.ja-town.com>

